

いきいき
まえばし人



群馬教育書道展で県知事賞
横澤 美奈さん・17歳
三俣町一丁目

筆を持つと無心で集中

第63回群馬教育書道展で、2万1,332点の応募の中から最高賞である県知事賞に選ばれた。受賞作は「臨・乙瑛碑」。中国の後漢時代に建てられた隸書の名筆「乙瑛碑」を臨書した力作だ。

「先生からのメールで受賞を知りました。最高賞をもらえるとは思っていなかったのうれしかったです。家族も喜んでくれました」

書道を始めたのは小学校低学年のころ。自宅が書道塾を営んでいたこともあり、自然と興味を持った。「筆を持つと無心になります。集中できたときは一気に書き上げられます」

7月29日から8月2日まで三重県で行われた全国高校総合文化祭には、県代表の1人として参加した。

「高いレベルの作品に触れることができて勉強になりました。全国の人と友達になり、帰ってきてからもメールで連絡を取っています」

現在、市立前橋高の3年。得意な科目は数学。受験勉強の合間には音楽を聴いたり、友達とおしゃべりしたりしてリフレッシュする。

「大学に入ったらスポーツを始めたいですね。書道はちょっとお休みしちゃうかも。でも、少ししたらきつと書きたくなるんじゃないかな」

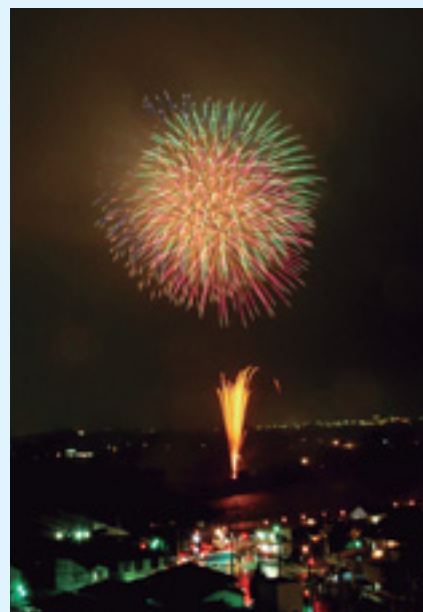
将来の夢は理学療法士と笑顔で語る。書道で培った集中力を生かし、夢に向かって突き進んでほしい。



実験を通して科学を楽しむ

8月7日から9日まで、前橋工科大こども科学実験教室を前橋プラザ元気21で開催しました。人工イクラやスライム作り、モーターを使った工作などを実際に体験。子どもたちは、実験を通して科学の楽しさを学びました。

雨にも負けない大輪の花



8月8日、前橋花火大会を大渡橋周辺利根川河川敷で開催。スターマインや空中ナイアガラなど、1万3,000発の花火が夜空を彩りました。大迫力の光のステージに何度も拍手が沸き起こりました。

自作のロボットが熱い戦い

「まえばしロボコン」を8月22日、県生涯学習センターで開催。まゆ玉状の発砲スチロールが敷き詰められたコース上のボールを取り、2分以内にゴールを目指しました。参加者のロボット操作に拍手と歓声が沸き起こりました。



クローズアップ



ゆかりの作家作品一堂に

8月12日から17日まで、市民文化会館で収蔵美術展を開催しました。この美術展では、本市ゆかりの3作家の画風の変遷や創作への取り組みが分かる個性あふれる作品を展示。会場に訪れた人たちは、興味深そうに作品を鑑賞していました。



三角縁神獣鏡の複製品

前橋天神山古墳は全長129メートル、三角縁神獣鏡の複製品が出土した。前橋天神山古墳は4世紀に造られた、県内で最も古い前方後円墳であることが明らかになったのです。その後、墳丘の一部が残され、県指定史跡となりました。

出土した副葬品の一部は、昭和54年6月に国重要文化財として指定。現在は東京国立博物館に所蔵されています。本市には複製品が残り、前橋プラザ元気21の4階文化財展示コーナーに展示中。遠く古墳時代の栄華を物語っています。

本市出土の貴重な副葬品
国重要文化財 上野前橋天神山古墳出土品

いにしえ
万華鏡
その六

問い合わせは 文化財保護課 ☎2361-9531